



耐久大学だより

第243号
平成30年8月30日発行
広川町中央公民館
編集責任者：國分隆雄

津波避難3原則 ①想定にとられない②命を守るために最善を尽くす③周りが逃げなくても逃げる

人生のしめくり終活に向けて・・・

～今時のお葬式事情とエンディングノート～

全日本葬祭業協同組合連合会 **南 正毅 氏**

これからの日本の人口動向や葬儀会場や葬儀のあり方、葬儀にかかる費用などについてお話を伺いました。また、DVD「愛する家族のために」やエンディングノートのお話では、自分が生きている人生を見つめ直すことになり、今生きていることに感謝し、より充実した人生を歩んでいきたいと感じました。

感想として、「終活については自分の事と捉え、少しでもすすめていきたい」「葬儀について、家族にも聞かせたかった」等の感想も聞くことができました。

今、生きている時間をどれだけ充実していくかが大切だということ学ぶ機会となりました。



公共交通機関の利用促進

和歌山県総合交通政策課 **波多野 宏 氏**

年々人口が減少し、高齢化が進む広川町。この町で生活していくためには車やバイクは欠かせないものになっています。しかし、高齢化による運転免許の返納などにより公共交通（電車やバス）を上手に使わなくてはならないときがやってきます。



現在、広川町には「広川ビーチ駅」（度重なる陳情で誓願駅として広川ビーチ駅が平成5年3月14日に開業）があります。また、今年の6月にふれあい館がリニューアルされ立ち寄りたくなる場所となってきました。講義の後「もうそろそろ遠くへは運転が不安なので、電車の利用を考えている」や「200円駐車場のことが広まればいいのに」、「後の世代に駅を残すためにもできるだけ活用せなあかんの」という声を聞きました。地域にあるものをさらに育て広げていく意識や工夫が大切だと感じました。

耐久大学

体験入学募集中

仲間の枠を広げ、楽しく健康に過ごせるように、身近な方への声かけをお願いします。

専科講座の紹介

みんな生き生き楽しんでいます。好きなことをすると笑顔になります。

切り絵専科より

切り絵専科では、一人ひとりが自分の気に入った下絵を元に、作品作成に取り組んでいます。切り取った部分の下に色を入れると、すてきな作品になっていきます。合間におしゃべりをしながら和気藹々と楽しく取り組まれていました。

難しいところは先生のアドバイスを受けながら、好きなことを気の合う仲間と一緒に過ごす時間はとっても楽しそうでした。



今回は切り絵専科の活動を紹介させていただきました。次回の専科紹介をお楽しみに♪

桂 文鹿一座 落語会のお知らせ



日頃より近隣の皆様には、大変お世話になっております。この度安楽寺におきまして、恒例の落語会開催致しますので、ご案内申し上げます。

ご近所お仲間の方お誘い合わせて、ご観覧頂ければ幸いです。

場所：安楽寺本堂

日時：平成30年9月27日（木）

時刻：14:00より開始

どなたでもご観覧頂けますので、手ぶらで遊びに来て下さい。



安楽寺 0737-62-3994

— 第3回広川町議会定例会の一般質問についての傍聴 —

平成30年9月25日（火）午前9時から広川町議会定例会の一般質問が行われます。

議会の傍聴ができます。ぜひ参加してみてくださいはどうか？